

日本資産運用基盤G

金融機関へ人材紹介

有価証券運用など支援

日本資産運用基盤グループ(G)は3月1日、有料職業紹介事業の認可を取得し、金融機関を対象にした人材

採用支援サービスを開始した。有価証券運用や個人向け資産運用事業を強化するため、専門的知見を持つ外部人材を採用したい地域金融機関が一定数あると

判断。大手金融機関で役職定年を迎えたシニア人材などをマッチングする。

同社は、地域金融機関向けに資産運用事業や有価証券運用の各種ソリューションを提供しているが、課題解決には「人材配置が必要なケースも少なくない」(大原啓一社長)と

いう。このため、金融分野に強いヘッドハンターを1人採用し、人材紹介サービスも提供できる体制を整えた。

このほか、同日には前金融庁リスク分析総括課主任統括検査官の長澤敏夫氏(59)も採用した。長澤氏は金融庁で「顧客本位の業務運営に関する原則」を担当したフィデューシヤリー・デューティの専門家。その知見を地域金融機関向けソリューションの拡充に生かしていく。